ツリウムレーザー
前立腺蒸散術を開始して

寺戸 三千和 先生

宗像水光会総合病院　泌尿器科　部長

〈略　歴〉

1999年　3月　産業医科大学医学部卒業
1999年　6月　産業医科大学病院泌尿器科
2000年　4月　門司労災病院(現　門司メディカルセンター)
2001年　4月　原三信病院
2002年　4月　産業医科大学病院泌尿器科
2003年　6月　宗像水光会総合病院泌尿器科
2004年12月　産業医科大学病院泌尿器科(H17年4月～助教)
2006年　6月　福岡労働衛生研究所
2008年　6月　産業医科大学病院泌尿器科助教
2012年　4月　産業医科大学病院泌尿器科講師
2012年　4月　宗像水光会総合病院泌尿器科

〈資　格〉

2010年6月　博士学位(産業医科大学　博医乙第371号)
2004年4月　日本泌尿器科学会専門医
2009年4月　日本泌尿器科学会指導医
2012年4月　日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医
2012年4月　日本がん治療認定医機構がん治療認定医

〈所属学会〉

日本泌尿器科学会　　日本泌尿器内視鏡学会
日本内視鏡外科学会　　日本泌尿器腫瘍学会
日本女性骨盤底医学会　　日本排尿機能学会
日本尿路結石症学会

はじめに

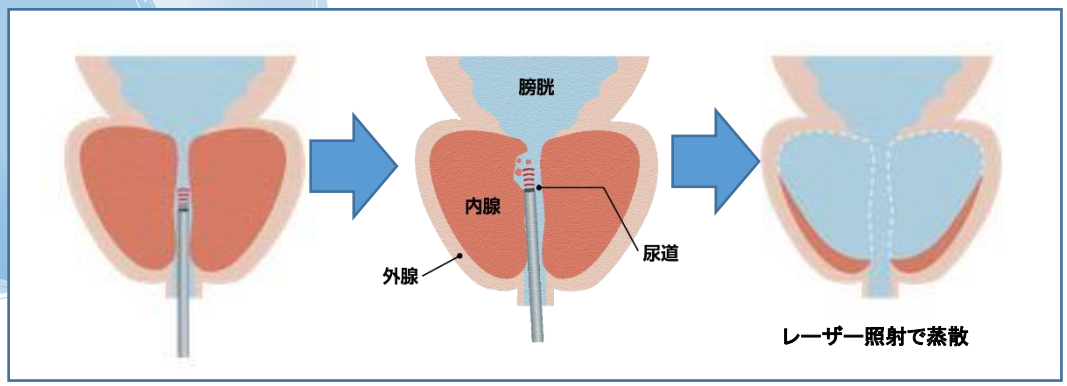
近年患者の高齢化に伴い、前立腺肥大症の手術対象となる患者は高齢化がすすみ、さらにサイズの大きな前立腺が対象になる事が増えてきた。

当院では経尿道的前立腺切除術(TURP)、経尿道的前立腺核出術(TUEB)を施行してきたが、大きな前立腺になると手術時間が長くなり、出血も多くなる事を憂慮してきた。

そこで、より安全な手術を目指してツリウムレーザーを用いたツリウムレーザー前立腺蒸散術（ThuVAP）を開始した。

ツリウムレーザー(CyberTM)を選択した理由

- 高い蒸散力で蒸散効率が良い点
- 切開も可能なため蒸散核出術(ThuVAP)にも利用できる
- レーザーファイバーが繰り返し使用できる



治療成績

術後3カ月の評価が終了した症例75例

平均年齢は76歳(63-90)

前立腺体積は中央値　60ml(20-225)

手術施行時に尿閉23例、尿閉歴あり40例

平均蒸散時間 40分(15-112)

平均総エネルギー 405758J(98410-1017659)

カテーテル留置期間中央値 36 時間(12-108)

術前IPSS：19.6(4-35)　　術前QOL：4.4(0-6)

術後IPSS：9.1(1-23)　　術後QOL：2.0(0-6)

IPSS scoreの低下：10.5(-4～28)　　QOL scoreの低下：2.4(0-6)

術後UFM(排尿量100ml未満は除いた)

術前最大排尿流量：9.1ml/s(1-23)

術後最大排尿流量：19.6ml/s(4-35)

残尿量の変化：術前平均139ml　術後平均71ml

合併症：8例

一過性尿閉5例:全例カテーテル再留置して改善

頚部硬化症1例：膀胱頚部頚部切開術施行

後出血2例：保存的に改善